

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	3
事業名	公害対策経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	5
施策	4 快適なまち	課名	環境防災課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名	環境資源係		
	4-1-2 自然環境の保全				
主要施策	③公害等環境問題への対応				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 公害等環境問題への対応として、水質汚濁をはじめ、騒音、悪臭、振動などの公害に対する監視・指導を推進し、未然防止及び適切な対応を図るため、環境基本法令等により、町内における水質検査等の環境測定を定期的実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			5,078		5,312		8,972		
財源内訳	直接事業費 A		4,154		4,388		5,210		
	うち一般財源		4,154		4,388		5,210		
人件費 (千円) B			924		924		3,762		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.14		924		0.57		
	臨時職員 (人・千円)				0		0		

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	環境基準値を超える原因に対し指導できる場合は、三重県と共に指導を行う。自然由来のものは経過観察とする。	③取組の課題	基準値以上になった箇所の原因特定が必要。
②R2年度に実施した取り組み	町内の大気・水質等環境保全にかかる監視箇所を設定し、環境騒音測定、公害水質検査を行い、住民が生活を快適に過ごせるように努めた。	④今後の改善計画	環境基準値を超える原因に対し指導できる場合は、三重県と共に指導を行う。自然由来のものは経過観察とする。